

は じ め に

消防団員の皆様には、かねてから「自分たちの町は自分たちで守る」という崇高な精神のもと、地域の安全や安心を守るため、格別の御尽力をいただいております。心から敬意を表しますとともに、厚くお礼申し上げます。

さて、平成23年3月に発生しました「東日本大震災」をはじめ、広島における土石流災害や岐阜県と長野県にまたがる御嶽山における噴火災害、昨年4月に発生しました熊本地震などにより多数の方々が犠牲になっており、今後、南海トラフ地震の発生も危惧されているところでもあります。

このような中、市町村等の消防関係機関においては、国が定めた「消防力の整備指針」等に基づき、消防職員の増員や消防車両の高度化など、年々充実が図られてきておりますが、阪神・淡路大震災や東日本大震災のような大規模広域災害時には「公助の限界」が明らかになり、自助・共助の充実を図っていくことが重要とされているところであり、消防団員は、地域防災の要として期待されているところでもあります。

本県においても、「安心して生活できる鹿児島」を目指し、消防団の充実強化に努めているところであり、女性消防団員については、平成18年4月の80名から平成28年4月には423名に増加し、火災予防の広報活動等による意識啓発をはじめ、災害時の避難誘導や避難所運営など、女性の特性を生かした多様な活動も求められております。

しかしながら、女性消防団員が入団してからの歴史が浅く団員数が少ない市町村は、活動内容について模索している状況にあります。

本書は、市町村や（一財）鹿児島県消防協会など関係機関の協力を得て、消防団の概況や女性消防団員の活動状況について取りまとめたものであります。

県内女性消防団員の皆様が、本書を基に、市町村域を超えての情報共有や情報交換を更に進めていただき、女性消防団員の皆様の活動の充実や入団促進が図られていくことを期待しております。

平成29年2月

鹿児島県危機管理局消防保安課長 杵田 昇

「女性消防団員の活動状況ブックレット」の作成に寄せて



一般財団法人 鹿児島県消防協会
会長 諏訪 義則

この度、女性消防団員の加入促進と消防団活動の活性化を図ることを目的に、県内各地の消防団の活動状況をまとめたブックレットを作成されたことは、日々地域の安心・安全の確保のため、消防防災活動に従事している消防関係者にとって大変喜ばしいことでもあります。

昨年は4月に熊本で震度7の地震が2回発生したのをはじめ、全国各地で発生した地震、台風、豪雨等様々な災害により多くの人命が失われ、建物やライフライン、道路・橋梁、農作物などに大きな被害が発生しました。

私たち消防団員は、いつ発生するかわからない災害から地域住民の生命と財産を守るため、平常時での防災訓練や広報活動などをはじめ、非常時における消火、救助、避難誘導等様々な活動に積極的に従事していますが、昨今の少子高齢化や就業形態の変化等により本県の消防団員数は減少傾向にあり、地域の消防団活動を維持していくためには若者をはじめとする消防団員の加入が強く求められています。

このような中で、女性消防団員の皆様は、かねてから火災予防の広報活動や応急手当の普及活動など地域における防災意識の向上に積極的に取り組まれておられ、地域に密着した女性ならではの心配りのある活動をされる女性消防団員の存在はとて心強い限りであります。

本県の女性消防団員の加入者は年々増加しつつあるものの、昨年10月1日現在456名と全体の3パーセント弱と少ない状況であり、市町村によってはまだ女性消防団員がいないところがあります。

このブックレットが、女性の消防活動など社会的活躍の機会を広げる支援となり、今後県下各地で女性消防団員の加入が促進されることにより地域の消防団活動が一層活性化されることを強く期待しています。

目 次

はじめに	1
「女性消防団員の活動状況ブックレット」の作成に寄せて	2
目 次	3
I 女性消防団員が加入している消防団	
鹿児島市	6
鹿屋市	8
枕崎市	10
阿久根市	12
出水市	14
指宿市	16
西之表市	18
垂水市	20
薩摩川内市	22
日置市	24
曾於市	26
霧島市	28
いちき串木野市	30
南さつま市	32
志布志市	34
奄美市	36
南九州市	38
伊佐市	40
始良市	42
十島村	44
長島町	46
湧水町	48
東串良町	50
南大隅町	52
南種子町	54

屋久島町	56
大和村	58
瀬戸内町	60
喜界町	62
徳之島町	64
天城町	66
伊仙町	68
和泊町	70
知名町	72
与論町	74

II 女性消防団員が未加入の消防団

三島村	78
さつま町	79
大崎町	80
錦江町	81
肝付町	82
中種子町	83
宇検村	84
龍郷町	85

※ 各市町村の基本情報については、以下に基づき作成したものである。

- ・ 人口及び世帯数は総務省公表の「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（平成 28 年 1 月 1 日現在）」より。
- ・ 面積は国土地理院公表の「平成 27 年全国都道府県市区町村別面積調」（平成 27 年 10 月 1 日現在の数値）より。
- ・ 消防団員数、うち女性、消防団条例定数及び分団数は消防庁実施の「平成 28 年度消防防災・震災対策現況調査」等（平成 28 年 4 月 1 日現在の数値）より。

I 女性消防団員が加入している消防団



鹿児島市

鹿児島市消防局警防課消防団係

☎ 099-222-0146

Mail: kebo - dan@city.kagoshima.lg.jp

<http://www.city.kagoshima.lg.jp/kurashi/bosai/shobokyoku/index.html>

●基本情報

★市町村の概況★

人口 : 607,382 人
世帯数 : 290,843世帯
面積 : 547.55 km²

★消防団の概況★ (平成28年4月1日時点)

消防団員数 : 1,480 人
(うち女性) : 24 人
消防団員条例定数 : 1,521 人
分団数 : 71分団

●消防団長の声



—消防団長—
上堀内 貞久

「人・まち・みどり みんなで創る“豊かさ”実感都市・かごしま」を都市像に掲げる鹿児島市は、歴史と共生する市街地の前面に、美しい錦江湾と雄大な桜島が織りなす大パノラマを有し、人口60万人を数える全国有数の中核市として発展し続けています。

鹿児島市消防団は、災害防ぎよをはじめ、地域に密着した様々な活動を行うことで地域防災力の強化に尽力し、市民の安心・安全を確保するために、一丸となって取り組んでいます。

●消防団の活動状況

【活動状況】 ～ 平成27年度（延べ数）の主な活動を掲載

・ 火災出動	84件	1,469人	
（建物火災	76件	1,410人	その他火災 8件 59人)
・ 風水害出動、警戒	19件	2,017人	
・ 救助出動	13件	160人	
・ 消防演習	71件	1,652人	
・ 訓練	87件	12,579人	
・ 研修	19回	1,281人	
・ 救命講習指導	121回	328人	
・ 広報・年末警戒	38回	8,058人	
・ 住宅訪問	2回	2,468人	(春、秋火災予防週間中に実施)
・ 出場準備	509回	827人	(車両・資器材点検など)

火災や水害の被害の軽減だけではなく、防災に対する意識を人の心に芽生えさせるのも、消防団員の大切な役割です。

●女性消防団員の活動状況

【概要】

鹿児島市消防団では、平成29年1月1日現在、27人の女性消防団員が活動しています。

【活動状況】

- (1) 火災予防等の広報・啓発活動
 - ・ 防火寸劇
 - ・ 消防ページェントへの参加
 - ・ 高齢者宅の住宅訪問（11月、3月）
- (2) 応急手当普及啓発活動
 - ・ 救命講習指導
 - ・ 救命寸劇
- (3) 防災訓練・各種イベント参加
 - ・ 地域防災訓練
 - ・ 消防出初式
 - ・ 桜島火山爆発総合防災訓練
 - ・ 安心安全まちづくり市民大会等
- (4) 研修・訓練
 - ・ ポンプ操法訓練
 - ・ 定例会及び研修会
 - ・ 全国女性団員活性化大会参加等

写真1 高齢者住宅訪問



写真2 防火寸劇



●女性消防団員の声

私達女性団員は、平成19年12月に発足してから10年目を迎えました。年間を通して火災予防広報、救命講習、地域の防災訓練などに従事していますが、家事や仕事をしながら、できる人ができる事を助け合い、相互協力と協調性を保って、楽しく活動しています。

また、課題を持って自主的な研修を行っており、活動の幅を広げて中身を充実させることで、市民の皆様の信頼度を高めていきたいと考えています。



●市町村担当者のメッセージ

消防団は、地域防災力を充実強化するための中核であり、中でも、きめ細やかな住民対応を行う女性団員は、今後、益々活動の幅が広がる可能性を秘めています。市民の安心・安全のために、何らかのご助力をいただける女性の方、ご連絡をお待ちしております。

鹿屋市

鹿屋市安全安心課

☎ 0994-31-1124

Mail: anzen@city.kanoya.lg.jp

<http://www.e-kanoya.net/htmbox/anzenanshin/index.html>

●基本情報

★市町村の概況★

人口 : 104,949 人
世帯数 : 50,158世帯
面積 : 448.15 km²

★消防団の概況★ (平成 28 年 4 月 1 日時点)

消防団員数 : 972 人
(うち女性) : 17 人
消防団条例定数 : 1,055 人
分団数 : 47分団

●消防団長の声



—消防団長—
荒平 純昭

これからは女性消防団員が活躍する時代

消防団の活動は消火活動だけではなく、現場での避難誘導や被災者の心のケア、行方不明者搜索、高齢者への訪問指導など多岐にわたります。任務の内容によっては、男性よりも女性の方が向いていることも沢山あります。現在、全国的に消防団員が減少する一方ですが、女性団員数は増加傾向にあります。今後、一人でも多くの女性に入団していただき、女性ならではの視点や発想を活かして地域の安全・安心を一緒に見守ってほしいと思います。

●消防団の活動状況

鹿屋市消防団では、47の分団に972人(平成28年4月1日現在)の消防団員が在籍し、自分の仕事と消防団活動を両立させながら、「自分たちのまちは、自分たちで守る」という使命感のもと活動しています。

《鹿屋市消防団の1年》

鹿屋市消防団では、様々な災害に備え、下記のような研修や訓練を行っています。

- | | |
|-----------------|----------------------------|
| ○4月…消防団全体分団長会議 | ○11月…全国秋季火災予防週間 |
| ○5月…水防訓練 | 教養訓練, 防ぎょ訓練, 防火パレード |
| ○6月…操法大会に向けた訓練 | ○12月…消防団年末特別警戒, 消防団正副分団長会議 |
| ○7月…操法大会(隔年) | ○1月…消防出初式 |
| ○8月…新入団員研修 | ○2月…消防団活性化委員会 |
| ○9月…消防団親睦事業 | ○3月…全国春季火災予防週間 |
| ○10月…総合防災訓練(隔年) | このほか、随時、訓練や研修等を実施 |

●女性消防団員の活動状況

鹿屋市消防団では、本部所属の女性団員で女性消防隊を結成（平成28年7月1日付）しており、予防啓発活動や後方支援を主に活動しています。また、分団所属の女性団員もあり、それぞれの地域の安全・安心のために活動しています。

◆女性消防隊「ローズ隊」について

【概要】

本部付女性消防隊「愛称：ローズ隊」

実員数：11名（平成28年12月1日現在）

定数：20名

【主な活動(予定)】

○平時

- ・ 定例会（毎月1回開催）
- ・ 独居高齢者宅戸別訪問
- ・ 火災予防広報
- ・ 規律訓練
- ・ 救急救命や防災等にかかる講習会への参加
- ・ 保育園や幼稚園等での火災啓発活動

○災害時

- ・ 後方支援活動等



●女性消防団員の声

女性消防隊 副隊長(班長) 福岡綾乃

入団のきっかけは、職場の同僚から声を掛けられたことでした。知らないことばかりで不安もありましたが、入団してみると他の団員の皆さんがとても優しく、色々と気にかけてもらっています。

まだまだ経験も浅く戸惑うことも多いですが、新しく発足した女性消防隊の一員として、女性ならではの細やかな配慮のできる団員を目指し、地域の皆さんからもっと身近に感じてもらえるよう、一つ一つの活動に取り組んでいきたいと思っています。



●市町村担当者のメッセージ

消防団員募集中！！

あなたも、消防団員として地域貢献しませんか？たくさんの方が自分の仕事や家庭を持ちながら活動しています。消防団に興味のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

枕 崎 市

枕崎市消防本部消防総務課

☎ 0993-72-0049

Mail: mdf.m119@circus.ocn.ne.jp

<http://fd-makurazaki.sakura.ne.jp>

●基本情報

★市町村の概況★

人 口 : 22,620 人
世帯数 : 11,171世帯
面 積 : 74.78 km²

★消防団の概況★ (平成 28 年 4 月 1 日時点)

消防団員数 : 260 人
(うち女性) : 12 人
消防団員条例定数 : 260 人
分 団 数 : 7分団

●消防団長の声



— 消防団長 —
中原 重信

当市は薩摩半島の南端に位置し、東は南九州市知覧町、北は南九州市川辺町及び南さつま市加世田、西は南さつま市坊津町に接し、南は黒潮流れる東シナ海に臨む景勝の地にあり、その形状はほぼ五角形です。「台風銀座」の異名があるほどの台風の常襲地帯であり、日本一の鰹節の生産地であるわが町を、全団員一致団結して、安心して暮らせるまちづくりに全力で取り組んでいます。

●消防団の活動状況

枕崎市消防団では 260 人の消防団員が地域の安心・安全のために活動しています。

- ・ 定期訓練 毎月 1 日を防災の日とし、サイレン吹鳴後早朝に消防訓練を実施
また、輪番制による消防本部との合同放水訓練
- ・ 年度初めの新入団員、新機関員を集めた規律訓練及び機関運用訓練
- ・ 災害図上訓練の実施
- ・ 春季秋季火災予防運動及び年末特別火災予防警戒広報活動
- ・ 救急訓練 (普通救命講習)
- ・ 操法訓練
- ・ 管轄内地形調査及び水利調査
- ・ 市総合防災訓練
- ・ 出初式

●女性消防団員の活動状況

概要

枕崎市消防団では団本部付けで12人の女性消防団員が活動しています。

活動状況

★平時

- 4月 新入団員との規律訓練
 - 5月 救急訓練
図上訓練
 - 6月 救急訓練指導
 - 7月 操法大会
 - 8月 規律訓練
 - 9月 市民健康教室
市防災訓練
 - 11月 規律訓練
秋季火災予防運動期間広報活動
 - 12月 年末特別火災予防警戒広報活動
 - 1月 出初式
 - 3月 春季火災予防運動期間広報活動
高齢者宅防火指導
- ★災害時 後方支援活動を行う。



●女性消防団員の声

枕崎市消防団団本部 班長 俵積田尚子

市民健康教室への応急手当普及員としての活動は、心肺蘇生法やAEDの使い方を伝える良い機会だと感じています。多くの方に普及することで助かる命が助けられる地域になれるよう、私たちも知識と技術を磨いていきたいと思えます。



●市町村担当者のメッセージ

枕崎市消防団と一緒に活動しませんか？

枕崎市消防本部 消防総務課 消防団係まで Tel 0993-72-0049



阿久根市

阿久根市総務課消防係

☎ 0996-72-0134

Mail: shobo@city.akune.kagoshima.jp

●基本情報

★市町村の概況★

人口 : 21,916 人
世帯数 : 10,414世帯
面積 : 134.29 km²

★消防団の概況★ (平成 28 年 4 月 1 日時点)

消防団員数 : 215 人
(うち女性) : 10 人
消防団員条例定数 : 224 人
分団数 : 8分団

●消防団長の声



— 消防団長 —
新留 秀雄

阿久根市消防団女性消防隊は、現在、10名の隊員で活動しており、年間を通して独居高齢者宅訪問や応急手当普及活動、火災予防啓発活動を行いながら、軽可搬ポンプ訓練等も実施しております。

女性消防隊員が持つ意欲と女性ならではの感性を生かした、日々の活動が地域を元気にしていくことと期待しています。

今後も阿久根市消防団として、一丸となり、更なる団結を図りながら地域住民の安心、安全を守っていきます。

●消防団の活動状況

阿久根市消防団は、昭和27年に発足し、現在、新留秀雄団長を中心として「自分の地域から、火災は絶対に出さない。」を合言葉に、1本部、8分団、25班、実員215名(うち女性10名)で組織されています。

地域の実情に詳しい消防団長の下、災害発生時はもちろんのこと、普段の活動も含め地域に密着した活動を展開しています。併せて、災害現場では指揮命令システムの徹底を行い、常備消防との密接な連携を図りながら活動しています。

年間を通じた主な活動は、消防出初式に始まり、火災予防運動週間には、常備消防との連携向上を目的とした合同訓練、各分団及び女性消防隊員による防火宣伝を実施しながら火災予防の啓発を図っています。また、各分団においては、海岸部や山間部等の地域特性に合わせた災害対応訓練を行っています。夏場には、消防操法訓練に汗を流し、全国消防操法大会出場を目標に消防署員の指導を仰ぎながら夜間早朝と日々の訓練に邁進しています。

今後も台風、豪雨等による災害にも迅速に対応していけるよう、更には、消防団活動の質の向上化を図るために努力していきます。

●女性消防団員の活動状況

阿久根市消防団女性消防隊は平成25年に発足し、現在10名で活動しています。

市民に対して自分達に何ができるかを常に考えながら、独居高齢者宅訪問や敬老会では寸劇を行い、消防操法大会や出初式では、軽可搬ポンプ操法を披露しました。また、応急手当普及活動においては、消防職員と市内各施設を訪れ心肺蘇生法等の指導を行っています。併せて、火災予防の啓発のため年2回市内全戸へ防火広報誌「まもり隊通信」の配布も行っています。

平成27年度には、地域に密着した活動が認められ、消防庁長官から消防団等地域活動表彰を受賞することができました。

今後も、自分達の持つ特性を生かしながら、地域に密着した活動を行い、地域に愛され頼りにされるよう改革改善しながら消防団活動に取り組んでいきます。



●女性消防団員の声

私達、女性消防隊は、年間を通じて様々な活動を行っています。

毎月、定例会を開催し、様々な研修や活発な意見交換をすることで、意志疎通を図り、より結束を固めています。

私たちの活動を通じて、一人でも多くの市民が消防団活動に興味を持っていただくことが女性消防隊の願いです。

まだまだ未熟な私達ですが、温かい目で見守ってください。



●市町村担当者のメッセージ

阿久根市消防団では、郷土愛に溢れた団員を募集しています！

地域を守る、支えていく一員として、あなたも活動してみませんか？

出 水 市

出水市消防本部 警防課消防団係

☎ 0996-63-0119

Mail: shobo_c@city.kagoshima-izumi.lg.jp<http://www.city.izumi.kagoshima.jp/shobo/>

●基本情報

★市町村の概況★

人 口 : 55,003 人
世帯数 : 24,937世帯
面 積 : 329.98 km²

★消防団の概況★ (平成28年4月1日時点)

消防団員数 : 491 人
(うち女性) : 8 人
消防団員条例定数 : 493 人
分 団 数 : 13分団

●消防団長の声



— 消防団長 —
平 井 勝 也

近年、少子高齢化社会の到来、社会環境の変化と同時に各種災害が多発している昨今、地域防災力の強化は喫緊の課題であり、その中核をなすのが消防団です。そのような中、女性消防団員の皆様には、災害時における後方支援活動や応急手当の普及、防災教育等、多岐にわたり活動していただいているところです。今後におきましては、女性消防団員の課題を解決しながら活動しやすい環境づくりに取り組み、女性の地域防災リーダーとしてご活躍を期待します。

●消防団の活動状況

出水市消防団では、13分団491人の消防団員が地域に密着した消防機関として郷土愛護のもとに、地域住民を中心として組織されています。

消防団員は、消防・防災に関する知識を習得し、火災発生時における消火活動、地震や風水害といった大規模災害発生時における救助・救出活動、警戒巡視、避難誘導などに従事し、地域住民の生命・身体・財産を災害から守るための活動をおこなっています。

災害のないときでも、消防操法大会へ向けた定期的な訓練を通して消防・防災に関する知識や技術の向上を図るとともに、特別警戒や広報活動などを行い、災害を未然に防いだり、被害を軽減したりするための重要な役割を担い、日々活動を続けています。

また、女性消防団員も全国的に増加傾向にある中で、出水市消防団においても平成21年に女性消防団員が発足し、現在、団本部に7名、分団に1名配属しており、女性の優しさや細やかな配慮を活かして活動しています。

●女性消防団員の活動状況

【概要】

出水市消防団では団本部女性部団員として7人、分団に1人、合計8人の女性消防団員が活動しています。

【活動状況】

★平時

- 1月 出初め式
- 3月 春季火災予防運動期間に高齢者宅へ防火訪問，チラシ配布
イベントでの救急・防災の寸劇
- 4月 辞令交付式
- 6月 消防ポンプ操法大会
- 7月 市内中学校での災害想定訓練
- 11月 秋季火災予防運動期間に高齢者宅へ防火訪問，チラシ配布
イベントでの救急・防災の寸劇
- 通年 火災予防広報，救急法・防災講話

★災害時

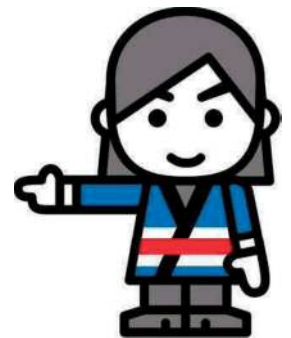
後方支援活動を行っています。



●女性消防団員の声

出水市消防団女性部

- ・私たちが行っている活動に興味・関心を持ってくれる人がいると嬉しいです。
- ・防災や救命等の知識が増えたこと，団員や地域の方との出会い・人とのつながりが増えたことを嬉しく思います。
- ・不安はありましたが実際に活動してみて，自信もつき，充実した活動を行なえています。消防団に入って良かったです。



●市町村担当者のメッセージ

出水市消防団でいっしょに活動してみませんか？

応急救護や防災に関する知識を身につけることで，いざという時に，あなたの大切な方や地域のみなさんを守れるかもしれません。

指 宿 市

指宿市危機管理課

☎ 0993-22-2111

Mail:kikikanri@city.ibusuki.lg.jp

<https://www.city.ibusuki.lg.jp/main/kyosei/bosai/bosai/>

●基本情報

★市町村の概況★

人 口 : 42,849 人
世帯数 : 20,681世帯
面 積 : 148.84 km²

★消防団の概況★ (平成 28 年 4 月 1 日時点)

消防団員数 : 520 人
(うち女性) : 10 人
消防団員条例定数 : 564 人
分 団 数 : 23分団

●消防団長の声



— 消防団長 —
下 吹 越 誠

消防団は、常日頃はそれぞれが仕事などを行っていますが、いざ災害などが起こると、住民の生命財産守るために活動する人たちの集まりです。

入団している人は、自営業、サラリーマン、公務員、主婦など様々な立場の人がいます。皆さん自分たちのまちを自分で守ろうという使命感を持った方々です。

ぜひ、多くの人に消防団員になっていただき、地域防災力強化のために一緒に活動してほしいと思います。

●消防団の活動状況

指宿市消防団では520人の消防団員が地域の安心・安全のために活動しています。

平常時の活動

4 月 教育・規律訓練、機関要員研修
5～10月 近隣市との合同訓練、救急・防災訓練、開聞岳山岳救助合同訓練
11月 秋季火災予防運動期間に広報活動及び火災想定訓練
12月 年末特別警戒
1 月 出初式、文化財防火デーに伴う火災想定訓練
3 月 春季火災予防運動期間に広報活動及び火災想定訓練
通年 機械器具点検・操作訓練、消防水利点検、火災予防広報、操法訓練

災害時の活動

大地震、台風、火災などにより災害が発生した場合には、消防署（分遣所）と一体となって、救助、救出活動や消火活動を行います。

その他の活動

行方不明者等が出た場合、警察や関係者の要請により、付近の搜索活動を行います。

●女性消防団員の活動状況

概要

女性消防団では本部付けで10人の女性消防団員が活動しています。

活動状況

平常時の活動

- 4月 教育・規律訓練
- 8月 心肺蘇生訓練
- 11月 秋季火災予防運動期間に広報活動
- 12月 年末特別警戒
- 1月 出初式
- 3月 春季火災予防運動期間に広報活動
- 通年 火災予防広報，操法訓練

災害時の活動

後方支援活動を行っています。



●女性消防団員の声

女性消防団 団員 下川床 恵子

女性消防団では火災予防広報や救急救命技術の普及に取り組んでおり、地域のイベントなどで寸劇を使って啓発活動を行っています。

女性ならではの目線で活躍できる機会も多いですし、様々な活動を通じて自分のまちのことをよりよく知ることができ、ますます自分のまちが好きになりました。



●市町村担当者のメッセージ

女性消防団と一緒に楽しく活動しませんか？

西之表市

西之表市総務課防災消防係

☎ 0997-22-1111

Mail: bousai@city.nishinoomote.lg.jp

<http://www.city.nishinoomote.lg.jp/admin/index.html>

●基本情報

★市町村の概況★

人口 : 16,185 人
世帯数 : 8,157世帯
面積 : 205.66 km²

★消防団の概況★ (平成 28 年 4 月 1 日時点)

消防団員数 : 314 人
(うち女性) : 13 人
消防団員条例定数 : 320 人
分団数 : 13分団

●消防団長の声



—消防団長—
福井 清信

西之表市消防団は、火縄銃・ロケット・安納芋などで知られている種子島の北部に位置する「西之表市」の消防団です。

平成24年4月に鹿児島県下で初となる女性分団を結成し、女性ならではの特色を活かした火災予防活動に取り組んでいます。その取組みにより島独特の火災であるサトウキビの枯葉の野焼き（通称「ハカマ焼き」）による火災を含め、本市の火災件数は大幅に減少しています。

今後ますますの活躍が期待される「西之表市消防団 女性分団」です。

●消防団の活動状況

火災出動

→火災現場へいち早く向かい、初期消火にあたる（被害を最小限に留める）

火災予防活動

→住民への啓蒙活動や、年末年始・ハカマ焼きシーズンのパトロール

警報等による警戒活動

→土砂災害警戒区域の見回り（大雨警報時）、沿岸部の見回り（津波注意報時）

行方不明者捜索

→消防署や警察、地域住民、市と連携し、行方不明者の捜索を行う

その他

定期訓練、各種研修、震災対策訓練、消防操法など活動は多岐に渡る

●女性消防団員の活動状況

年間を通して火災警戒パトロールや、高齢者宅への訪問、音楽班による障害者施設や高齢者施設への慰問などを実施しています。

※特に防災週間や年末年始、ハカマ焼きシーズンには集中して活動を行います。

その他

子ども祭りにおける防災ブースの設置
 消防操法大会の運営補助
 イベント等への参加
 炊出し訓練
 各種訓練や研修
 カルタを用いた園児向けの防災教室

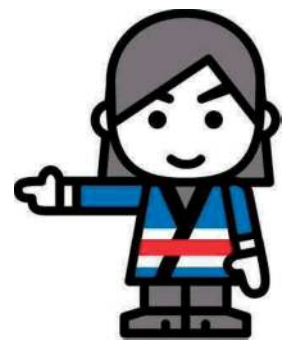
平成29年度からは新しくなった詰所での活動がスタートします！！



●女性消防団員の声

西之表市消防団 女性分団 分団長

- ・自営業の団員が少なく、火災に伴う緊急出動時に対応することが困難な状況です。また、女性分団員は所在も市内各地に点在しており統率を取りにくいという課題もあります。
- ・その分、計画的に活動することができるパトロールや慰問活動、ボランティアなどを積極的に行っています。
- ・今後は女性ならではの活動に特化できればと考えています。



●市町村担当者のメッセージ

西之表市では女性消防団員を随時募集しています！

※市ではfacebookをしています。「防災 種子島にしのおもて」とご検索ください。

垂水市

垂水市消防本部総務課消防団係

☎ 0994-32-1019

Mail: t_syoubou@po.city.tarumizu.kagoshima.jp

●基本情報

★市町村の概況★

人口 : 16,007 人
世帯数 : 7,854世帯
面積 : 162.12 km²

★消防団の概況★ (平成 28 年 4 月 1 日時点)

消防団員数 : 259 人
(うち女性) : 0 人
消防団員条例定数 : 311 人
分団数 : 9分団

●消防団長の声



— 消防団長 —
川畑 安正

垂水市消防団は、校区ごとに第1分団～第9分団の9つの分団に分かれて活動しております。

今年の5月には、垂水市初となる女性消防団員が入団しました。女性消防団員の加入により、ますます垂水市消防団が活性化されていくと思います。全国的にみても女性消防団員は増加傾向にあり、垂水市としても加入促進を目標に掲げているところであります。

その為にも、女性消防団員の入団しやすい環境作りを目指しています。

●消防団の活動状況

垂水市では、今年9月に直撃した台風16号による土砂崩れ、浸水などで多大な被害を受けました。川の増水により氾濫した地域の土砂除去や、越水防止に伴う水防工法など、消防団員を中心に地域の住民と協力して活動を行いました。また、災害ボランティアの設置により、市内外及び、県外の方々の協力もいただき、少しずつ復興の兆しが見えていますが、まだまだ安心できる状況ではありません。今回の様な、突然起こる災害に備え、日頃から訓練を行い、万全を期す思いでいます。

垂水市消防団の活動は、毎年1月6日に行われる消防出初め式から始まり、それが終わると、1月12日前後には桜島火山爆発防災訓練が行われます。桜島火山爆発防災訓練では、近年活発な活動を続ける桜島に備え、桜島に隣接する消防団を中心に、広報・避難誘導訓練を行っています。その後、水防工法訓練・市防災訓練・操法訓練等が続きます。

近年は、研修にも積極的に取り組み、昨年は幹部団員を対象としたS-KYT研修会、全団員を対象とした自主防災研修会を行っています。特に、「人災ゼロ」を目指す本市は、消防団と自主防災組織が連携して活動することが、「災害に強い街」につながり、地域住民にも信頼と安心を与えると考えています。

●女性消防団員の活動状況

【概要】

垂水市消防団では第5分団付けで1人の消防団員が活動しています。

【活動状況】

★平時

- 4月 水防訓練
- 5月 垂水市防災訓練
- 11月 秋季火災予防運動に伴う
防火広報
- 12月 住宅用火災警報器設置広報
- 1月 出初め式
- 3月 春季火災予防運動に伴う広報
- 通年 火災予防広報、操法訓練

★災害時

避難誘導・避難広報

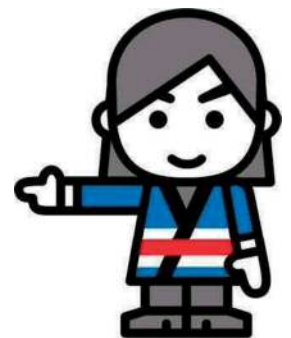


※写真は12月4日に行われました、「大野いきいき祭り」での、住宅用火災警報器の設置広報です。

●女性消防団員の声

仕事の関係で、鹿児島市から大野原地区に移住して2年が経過します。居住してから、地域の方々の温かさに触れて、何か恩返しがしたいと思い、地元の消防団に入団しました。

私が居住している地区は市街地と距離があるため、救急の要請をしても救急車の到着まで時間を要します。このような時に、消防団員としてできる応急処置等を学び、住民に安心を与えることができれば良いと思います。



●市町村担当者のメッセージ

垂水市に居住している方、職場が垂水市にある方でしたら、入団を随時募集しています。入団を躊躇する理由に、体力面の不安をあげられますが、男性団員と女性団員の活動内容は同じではありません。家庭と同じ役割分担があります。家庭や仕事との両立・体力的な不安もあると思いますが、私達が精一杯フォローします。力を貸していただけませんか？

薩摩川内市

薩摩川内市消防局警防課

☎ 0996-22-0125

Mail: f-shobodan@city.satsumasendai.lg.jp

[http:// www. satsumasendai-fd. jp](http://www.satsumasendai-fd.jp)

●基本情報

★市町村の概況★

人口 : 97,636 人
世帯数 : 45,906世帯
面積 : 682.92 km²

★消防団の概況★ (平成28年4月1日時点)

消防団員数 : 1,254 人
(うち女性) : 63 人
消防団員条例定数 : 1,329 人
分団数 : 33分団

●消防団長の声



— 消防団長 —
薬師寺 正司

薩摩川内市消防団は、本土区域と離島の甌島区域で構成され県内でも広域に及ぶ管轄面積で、本業を持ちながら、「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護の精神で活動しています。

女性消防団員は歴史が古く、漁業が盛んな甌島区域では男手が不足するのを補う形で、昭和35年から入団しています。一方、本土区域は、平成14年に団本部付き女性部が発足し、平成25年から団本部付き女性分団として、現在20名が予防啓発を中心に活動しています。

●消防団の活動状況

薩摩川内市消防団は、消防局の中央消防署・西部消防署・東部消防署・上甌分駐所・下甌分駐所の管轄区域に合わせ、中央・西部・東部・上甌・下甌の5大隊とし、その下に9方面隊・33分団(女性分団含む)で組織されています。また、女性団員は、団本部に団本部付き女性分団を、上甌・下甌大隊には、分団所属の女性団員で構成する併任の大隊付き女性部を配置して活動しています。

火災、風水害出場、行方不明捜索、火災予防週間広報活動、独居老人宅訪問などをはじめ、その他多数の訓練や地域の行事にも参加して地域住民の安心安全を守っています。

上記以外の活動

- ・原子力災害時要配慮者搬送訓練
- ・原子力災害屋内退避施設取扱訓練
- ・島外搬送訓練(海上保安庁/航空自衛隊/警察合同)
- ・消防団員研修(原子力災害資器材取扱い/緊急自動車運転講習/ポンプ運用訓練など)
- ・川内川水防訓練
- ・消防演習
- ・山林火災中継訓練
- ・自主防災訓練
- ・集団救急事故訓練
- ・高速船甌島集団事故対策訓練(海上保安庁/警察合同)
- ・普通救命講習受講
- ・消防操法訓練
- ・花火警戒警備
- ・木遣り歌保存会練習

●女性消防団員の活動状況

【本土区域】

- ・ 団本部付き女性分団 20名
- ・ 分団所属女性団員 2分団 4名

【上甌区域】

- ・ 分団所属併任上甌大隊付き女性部 17名

【下甌区域】

- ・ 分団所属併任下甌大隊付き女性部 22名
- 計 63名



主な活動内容

- ・ 火災予防の啓発活動
- ・ 高齢者世帯等への防火訪問
- ・ 消防出初式
- ・ 普通救命講習会指導員（応急手当普及員終了認定 女性団員17名）
- ・ 幼年消防クラブ防災教室（紙芝居，人形劇，避難誘導訓練）
- ・ 軽可搬ポンプ操法訓練
- ・ 女性分団（部）定例会
- ・ 災害時の被災者の救護活動等，女性特有の優しさを活かした啓発活動が主体になっています。

また，女性分団の更なるイメージアップを図るためハンドベル隊「リリースベル」の愛称で活動しており市内で行なわれる数々のイベントに招待され様々な場面で活躍をしています。



●女性消防団員の声

団本部付き女性分団 分団長 宮里英子

入団しなければできない素晴らしい経験，そして生活にメリハリがあり，やりがいを感じていると多くの団員が言います。

私は，男性・女性に分けて考えず，それぞれの持ち場で力を発揮しお互いを尊重しながら自信と誇りを持って活動していきたいです。また，入団して命の尊さ，予防の大切さをより一層感じています。地域の方々から「あなたが近くに来てくれて本当に良かった，ありがとう」って頼りにしてもらえる消防団員を目指します。



●市町村担当者のメッセージ

薩摩川内市消防団に関する問い合わせ先

薩摩川内市消防局警防課消防団係 直通電話 0996-22-0125

薩摩川内市消防局ホームページ・Facebook で活動を随時紹介中